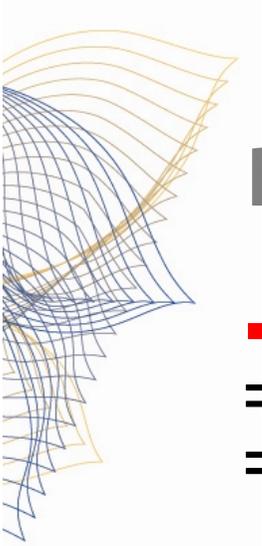


# 最新のAdobe® Reader 7.0で実現！ 情報共有とセキュリティを両立 する次世代リッチクライアント

▶ 東京コンファレンスセンター品川  
2005年1月18日

アドビシステムズ 株式会社  
マーケティング本部  
エンタープライズ・マーケティング部  
小島 英揮

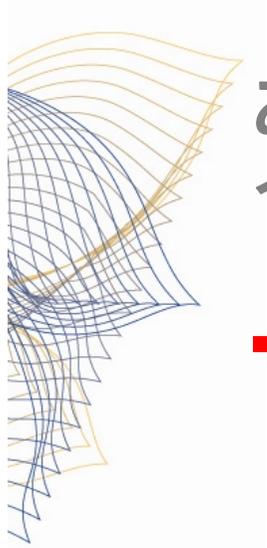




## Rich Clientへの期待

- Webシステムのメリットを継承
  - ⇒システムをファイアウォールの外に拡張
  - ⇒不特定多数が利用可能なエンドユーザ環境
- Webシステムのデメリットを克服
  - ⇒オフラインでの運用
  - ⇒「エンド・ツー・エンド」での柔軟なプロセス構築
  - ⇒高品位な印刷への対応
- セキュリティを確保した情報流通の実現
  - ⇒情報の改ざん防止、長期保存への対応
  - ⇒情報漏えい対策：動的なアクセスコントロール

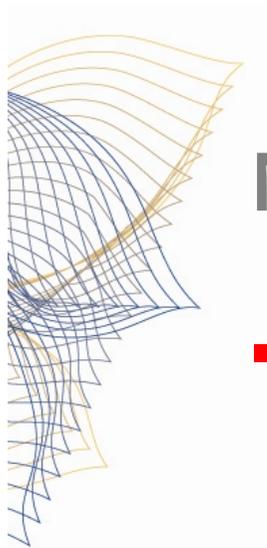
エンドユーザ環境はAdobe Readerだけという  
シンプルなプラットフォームで実現



# あなたのAdobe ReaderとPDFに対するイメージは？

- **PDFのイメージ**
  - 印刷用フォーマット
  - GIF、TIFFと何処が違う？
  - レイアウト変更不可＝固定されたドキュメントフォーマット
- **Adobe Readerのイメージ**
  - PDFの表示・印刷機能
  - 無償でダウンロード可能

これは、Adobe Reader、PDFの  
一部の機能にしか過ぎません

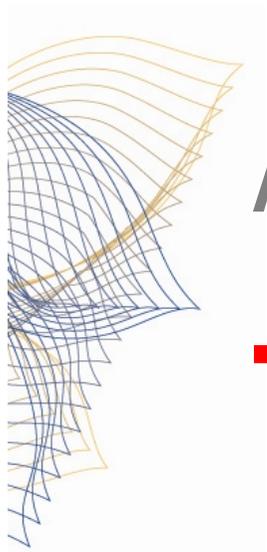


# Now Available !

- 2005年1月11日 Adobe Reader 7.0日本語版 無償ダウンロード開始！



<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>



# Adobe Reader 7.0

- より Rich Client としての機能を強化

電子フォーム機能の拡張

セキュリティ機能の強化

UIの改善

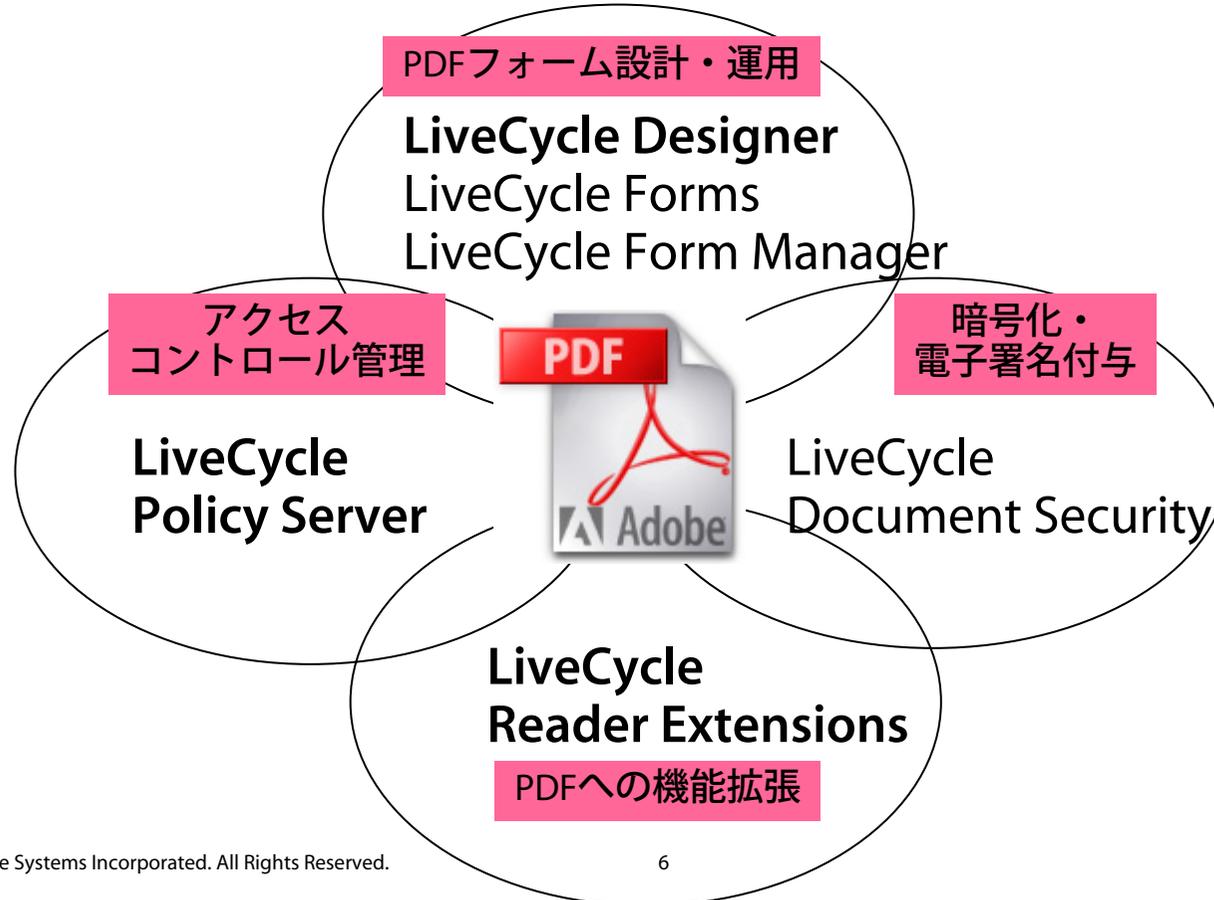
起動スピードの向上

Adobe LiveCycle  
製品群との連携

Rich Clientとしての  
操作性の向上

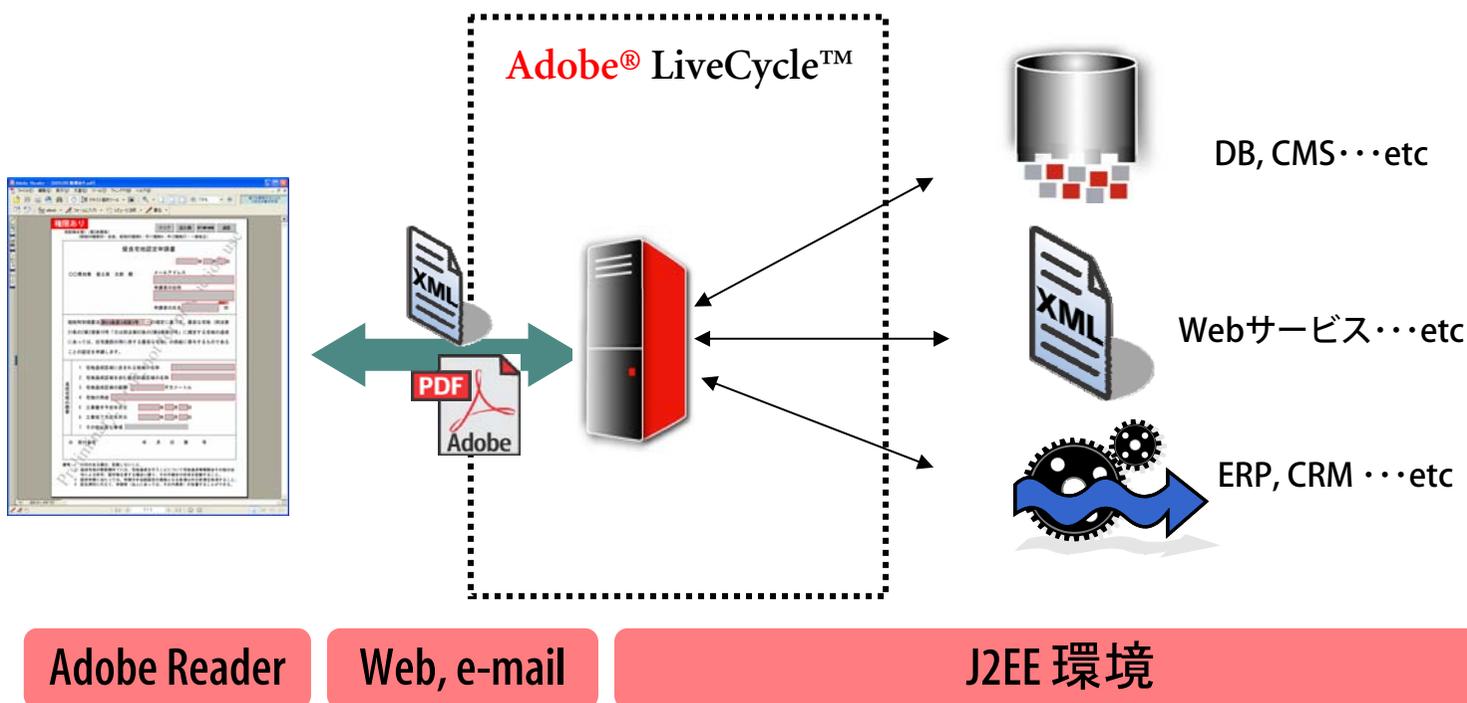
# Adobe LiveCycle

- Adobe ReaderをRich Clientとして活用するためのPDFの設計・機能拡張・管理を行う製品群
- サーバ製品は、すべてJ2EE対応



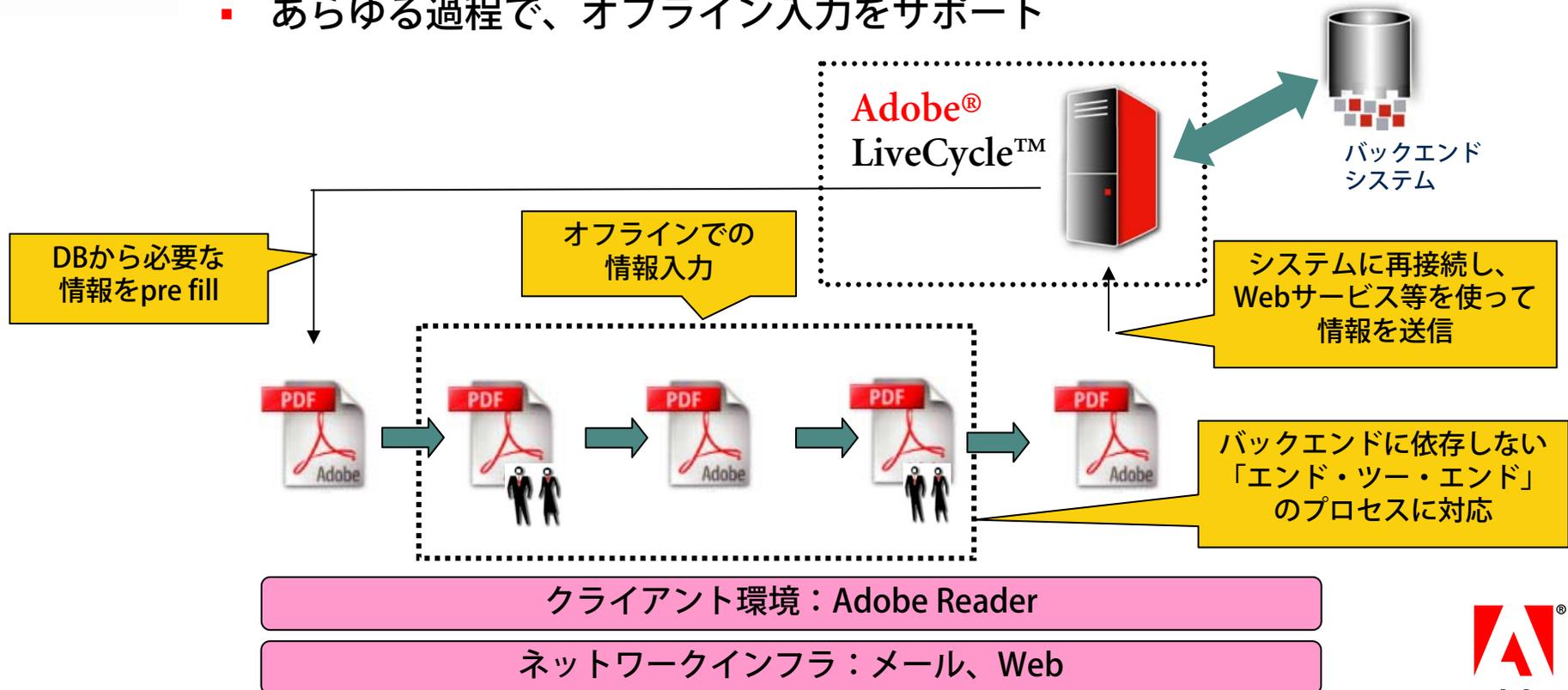
# LiveCycleの効果： フロントエンドとバックエンドシステムとの統合

- LiveCycleがPDFをUIや情報のコンテナとして、バックエンドと連携したデータキャプチャ、プレゼンテーションの構築を実現
- J2EE利用によるコネクティビティ、スケーラビリティ



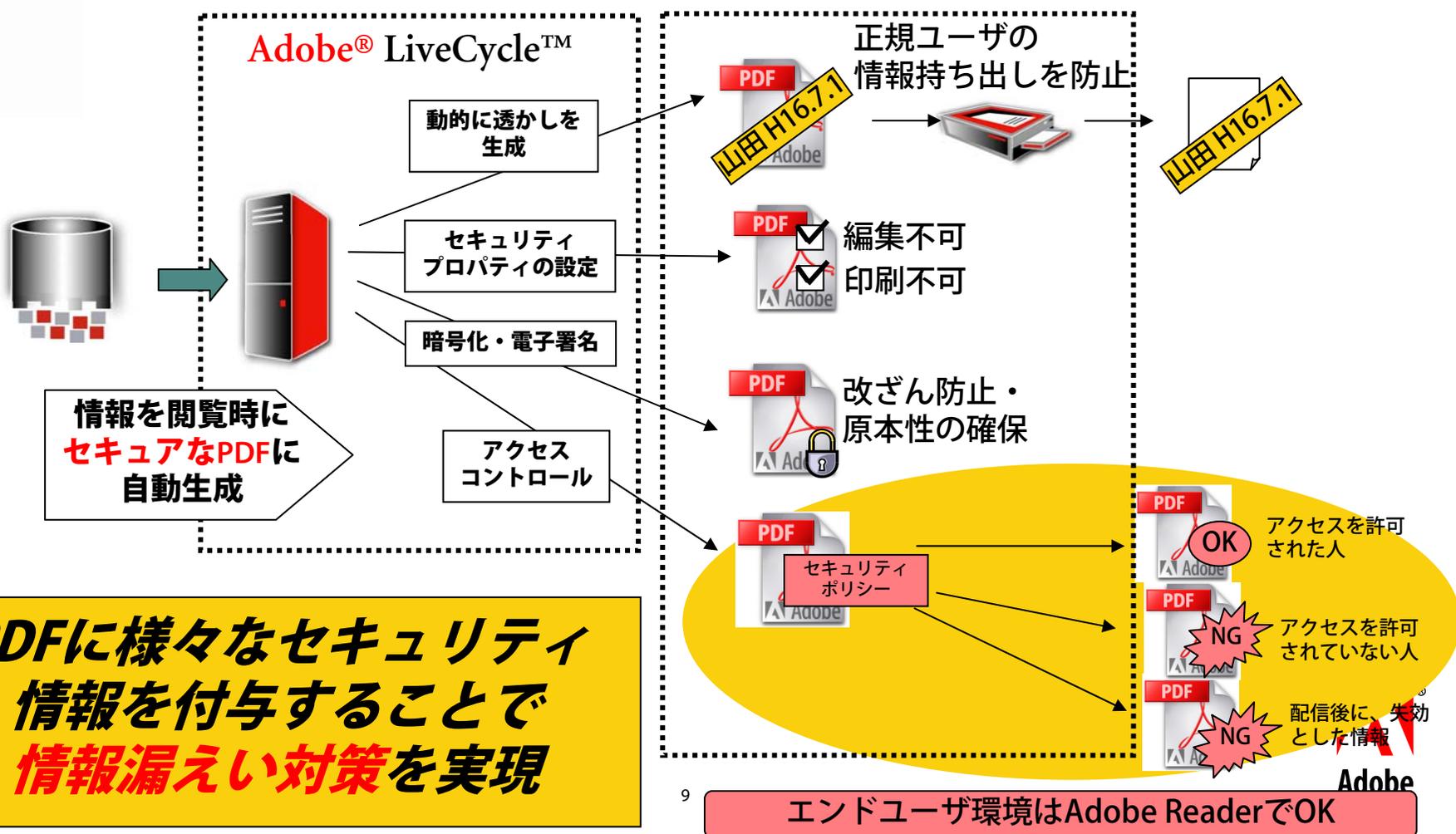
# LiveCycleの効果： オフライン+非定型プロセスへの対応

- オフラインを業務システムのフロントに活かすと・・・
  - ユーザビリティの高いPDFでの終始一貫した入力環境
  - 通常のWebアプリケーションのような常時接続は必要なし
  - フォームのロジック設計により、記入漏れ、記入ミスを削減
  - あらゆる過程で、オフライン入力をサポート



# LiveCycleの効果： PDFへのセキュリティ付与

- エンドユーザ環境は、Adobe Readerだけで良く、社内外にまたがるセキュリティインフラを実現
- セキュリティポリシーにより、情報配信後でも閲覧可否をコントロール

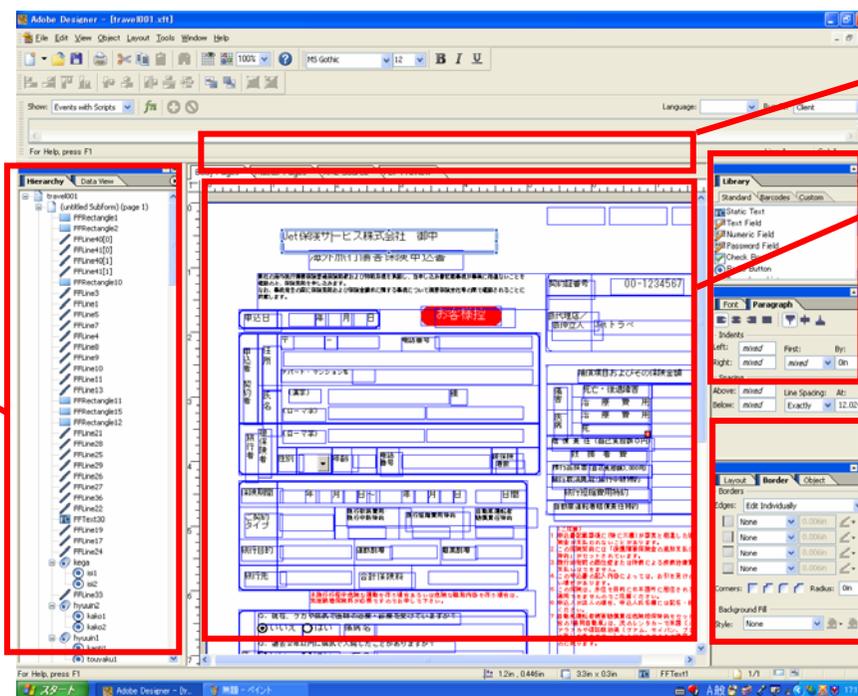


**PDFに様々なセキュリティ  
情報を付与することで  
情報漏えい対策を実現**

9 エンドユーザ環境はAdobe ReaderでOK

# 先進のUI/電子フォーム開発環境 Adobe® LiveCycle Designer

- GUIベースのPDFフォーム開発環境
  - レイアウト、入力ロジック、データ構造を一度に開発
  - XMLスキーマ、Webサービス、DB等のデータ構造をインポート可能
  - PDF、MS InfoPath等の、既存フォーム資産のインポートが可能



データ構造の  
インポート

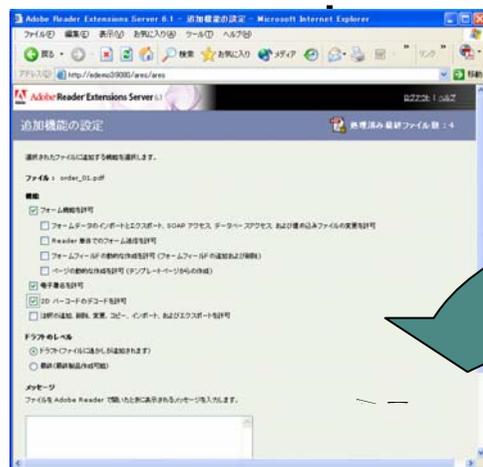
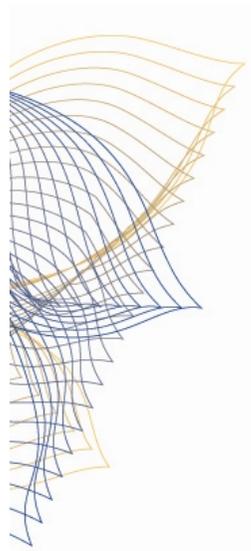
スクリプトで  
ロジック設計

GUIでレイアウト作成・  
PDF等のレイアウト  
インポート

機能実装を容易  
にする部品群

フォント等の設定

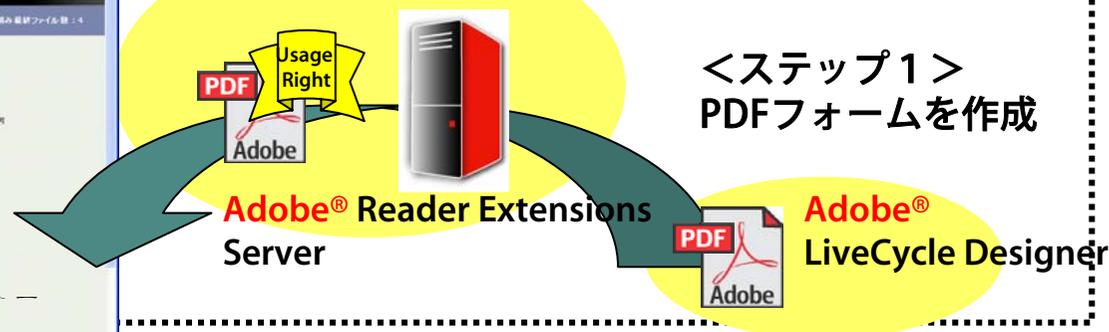
# PDFフォームへの機能拡張を実現 Adobe® LiveCycle Reader Extensions



Reader Extensions  
機能拡張設定画面

<ステップ2>  
PDFフォームに「機能拡張」

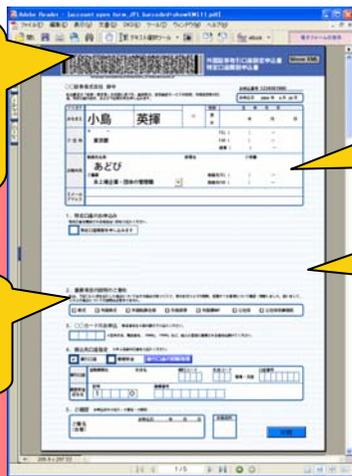
Adobe® LiveCycle™



<ステップ1>  
PDFフォームを作成

2次元バーコード  
の処理を許可  
※日本での提供時期は、別途  
ご確認ください

オフラインでの  
運用を実現



電子署名に対応

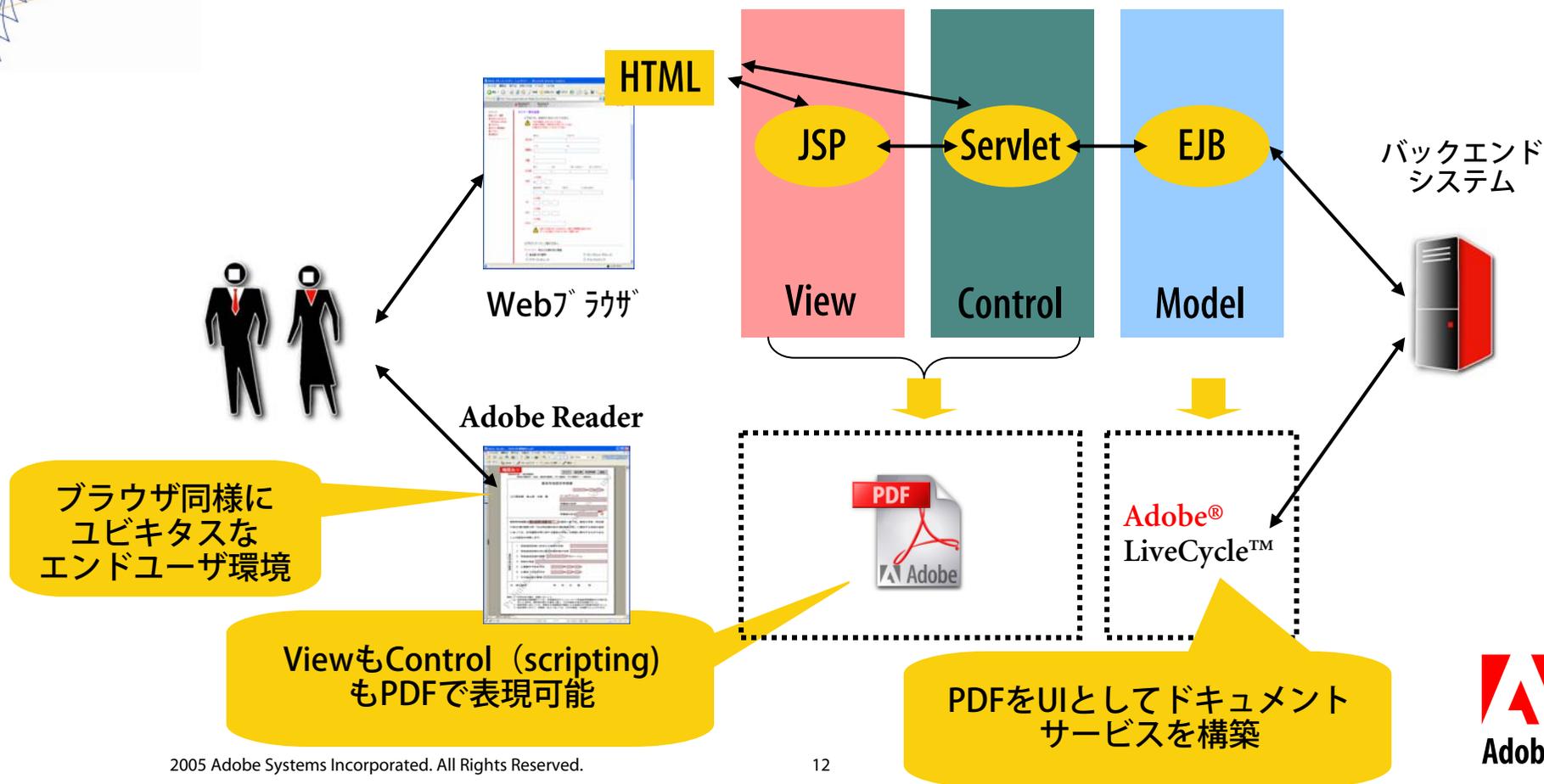
各種ファイルの  
「添付」が可能

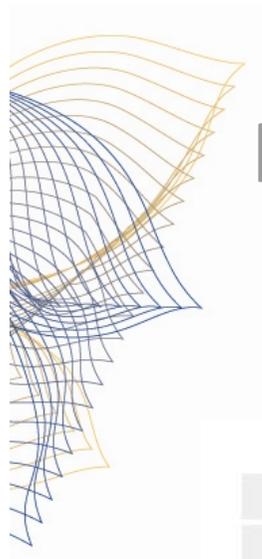
<ステップ3>  
無償配布のAdobe® Reader  
で各種フォーム機能の利用  
が可能に



# PDFソリューションを MVCモデルに置き換えて考えると・・・

- 従来JSPやServletで開発してた、システムのUI部分の多くをPDFでのインテリジェントフォームの開発により実現可能
- PDFを利用することにより、従来のHTMLの限界を打破





# PDFフォーム利用ステップ

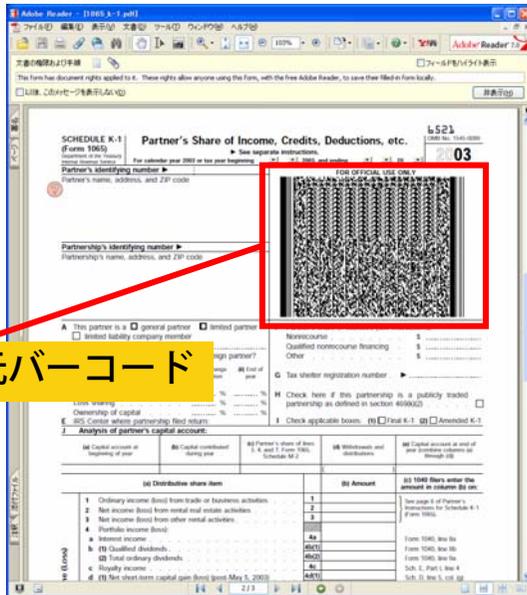
- 業務にあわせてPDFフォームに「機能拡張」
- 利用者環境は、Adobe ReaderのみでOK



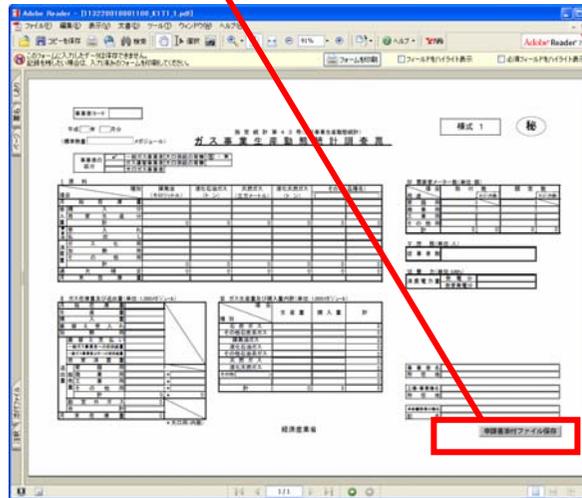
# LiveCycleによるフォーム機能拡張例

## ■ プロセス自動化のための機能拡張

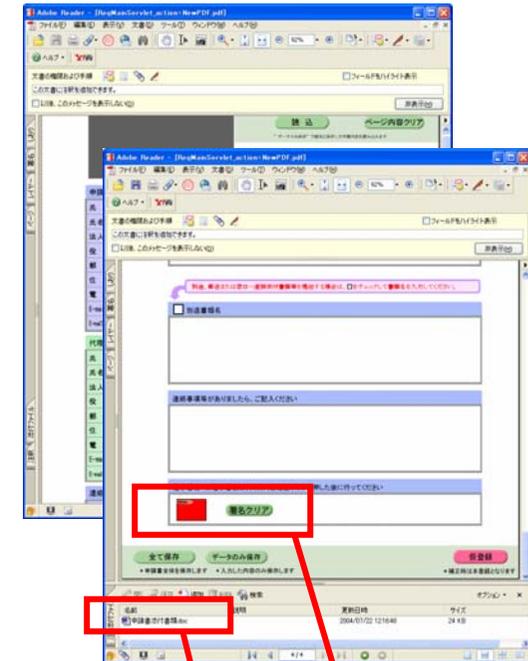
<IRS：税申告フォーム>



記入内容の保存・送信



<埼玉県庁様：汎用電子申請>



<資源エネルギー庁様：統計調査票>

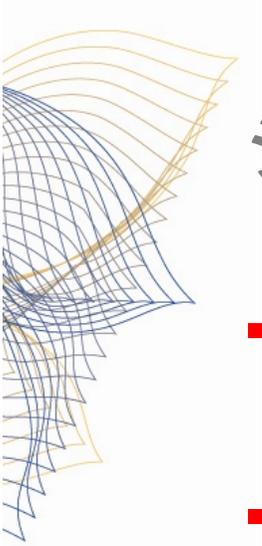
- 2次元バーコードの活用
- 記入、保存、送信をAdobe Readerで実現
- オンライン・オフライン双方の運用に対応
- PDFを情報の「コンテナ」として活用

電子署名

ファイル添付

# DEMO#1：2次元バーコードソリューション (紙と電子プロセスの融合)

The screenshot shows a Microsoft Internet Explorer browser displaying a banking website. The main content is a form for '住所変更届・公共料金口座振替依頼書' (Address Change and Public Utility Account Debit Request Form). The form includes fields for name (面土美 太郎), date of birth (44.02.03), and address (大崎ゲートシティ, 東京都品川区大崎1-11-2). A large 2D barcode is generated on the right side of the form, which dynamically reflects the entered information. A yellow callout bubble with a red border points to the barcode, containing the text: 'フォームへの記入情報が、ダイナミックに2次元バーコードに反映'.



# シナリオ：顧客情報管理の効率化

- **対象業務**

- 既存顧客の個人情報メンテナンス

- **顧客の課題**

- 本人確認のため押印された「紙」が必要
- エンドユーザへのサービスの向上
- 新規契約等ではいため、コストを圧縮したい
- 業務効率（郵送時間、再入力時間、エラー訂正 等）

- **アドビの提案**

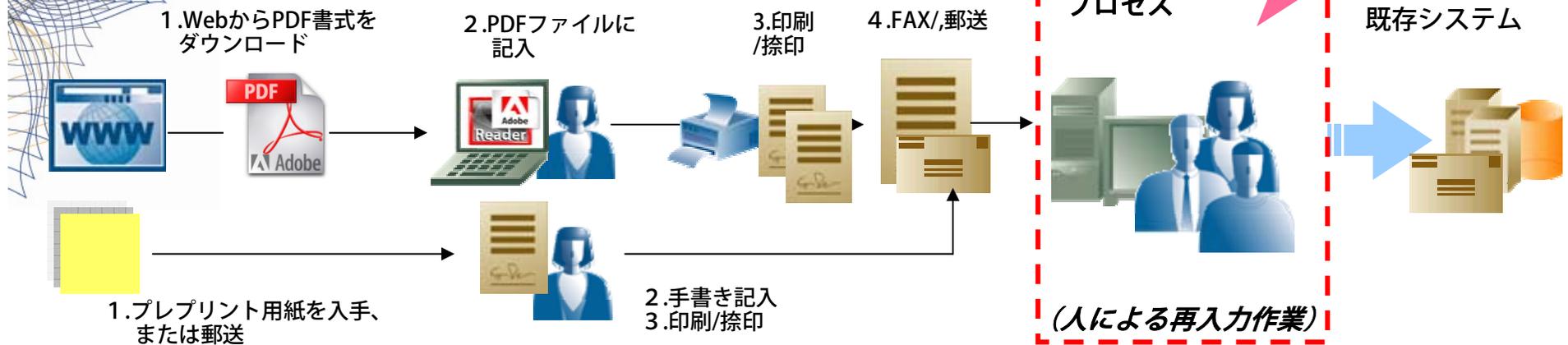
- 2次元バーコード＋PDFフォームによる情報再入力、補正作業の大幅な削減

- **適用製品**

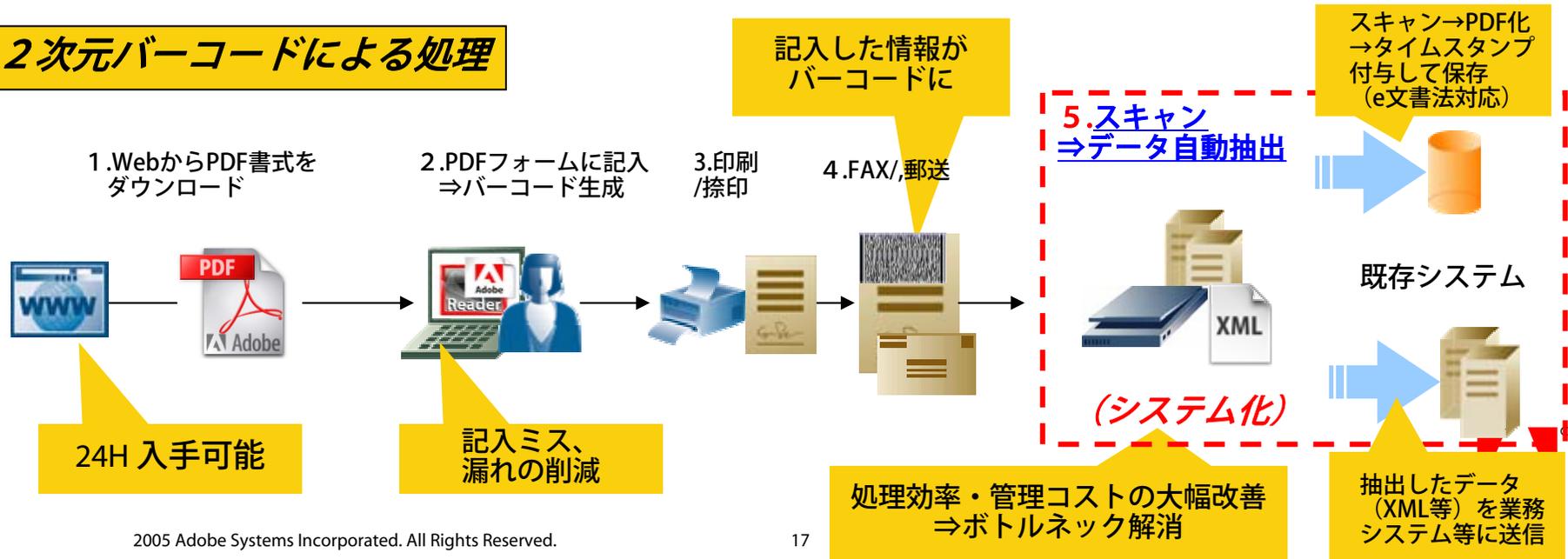
- LiveCycle Designer
- LiveCycle Barcoded Forms/Decoder

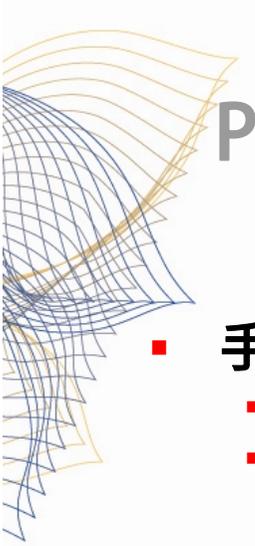
# 2次元バーコード利用による 申込業務の効率化

## 従来の「紙」の処理プロセス



## 2次元バーコードによる処理





# PDFフォーム＋2次元バーコード利用のメリット

## ■ 手書フォームとの比較

- PDFフォームのエラーチェック機能により、記入漏れや計算間違いが減少
- 記入されたデータは、バーコードから読み取るため、人手による再入力の手間、コスト、エラーを削減

## ■ OCRとの比較

- 読み取り精度が大幅に向上（論理的には100%正確）
- フォームの改訂ごとに発生する読み取り位置の再設定が必要なくなる

## ■ フルデジタルとの比較

- ネットワークセキュリティ、電子認証基盤、高価なサーバシステム等が不要
- 添付書類が紙、または窓口での本人確認等が必要な場合に、有効
- FAX等の既設インフラを活用可能

## ■ 1次元バーコード利用との比較

- 従来のバーコードより格納できる情報量が多いため、申請内容全体をバーコードに生成可能

## セキュアな情報コンテナとしてのPDF

- ドキュメントプロセスの中での**一貫した情報の整合性**、**時と共に変化するセキュリティレベルへの対応**を実現

タイムスタンプ：  
情報の作成時を証明

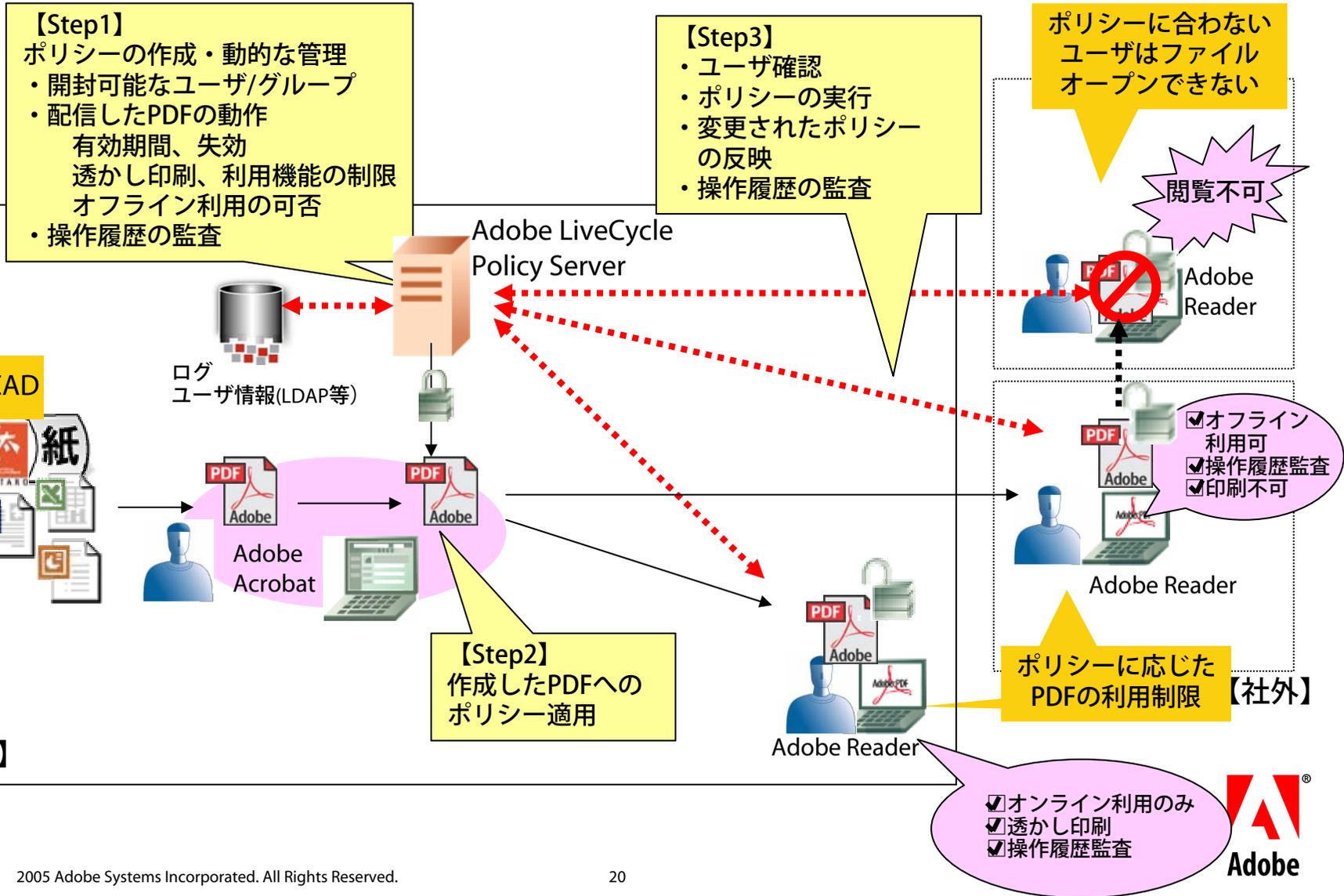
暗号化：  
情報の秘匿性を確保



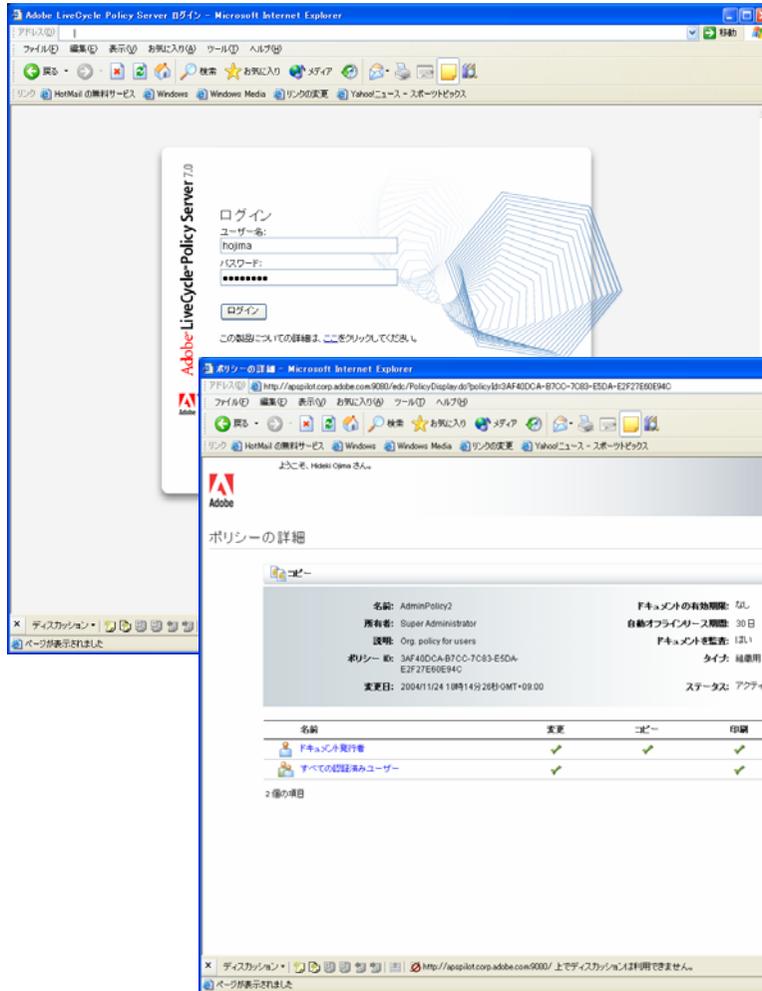
セキュリティポリシー：  
動的なアクセスコントロールを実現

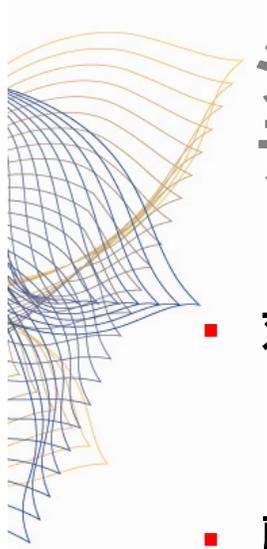
電子署名：  
情報の完全性を確保

# 情報の動的なアクセスコントロールを実現 Adobe® LiveCycle Policy Server



# DEMO#2：セキュア・コラボレーション (情報の不正流出を防ぐワークフロー)



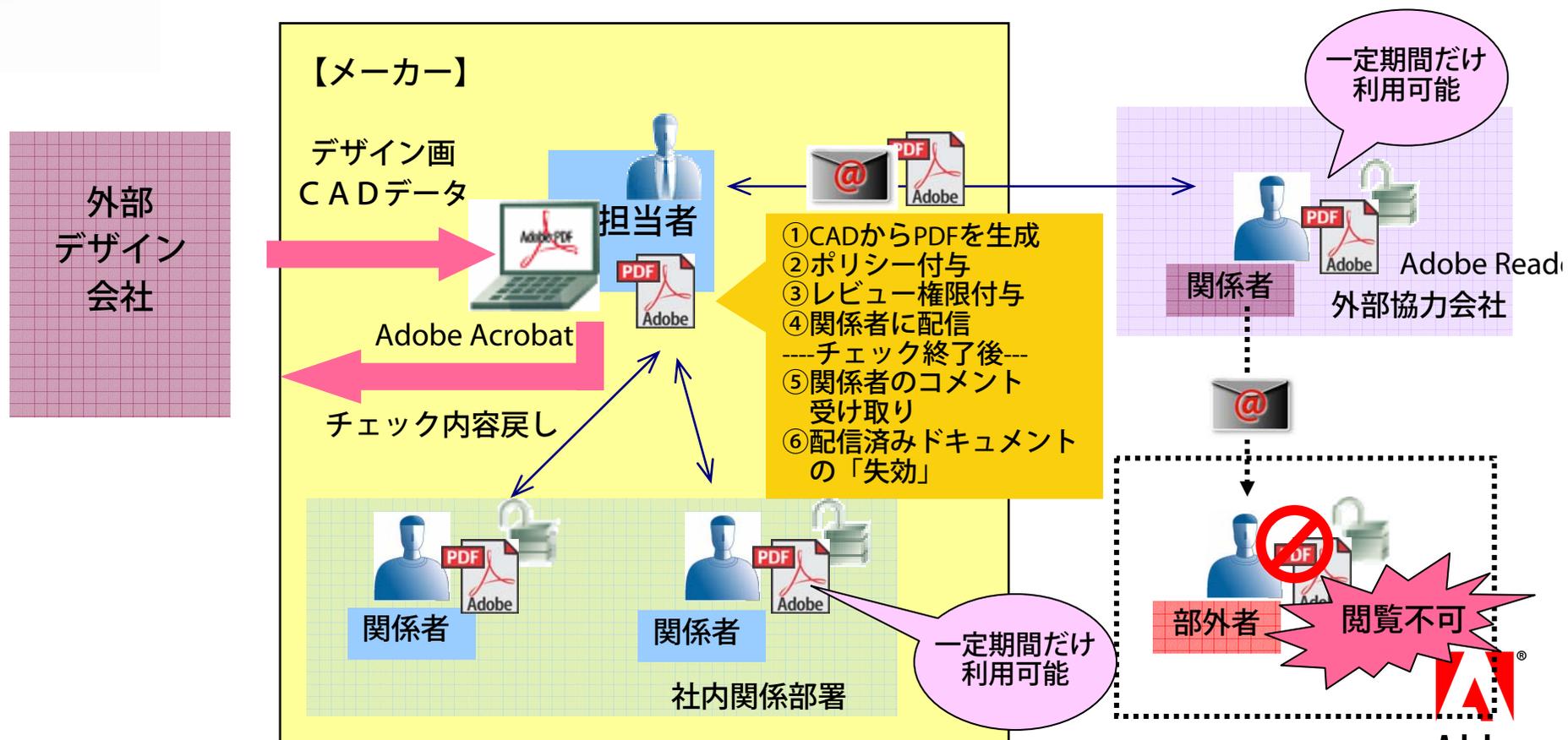


# シナリオ：製造業における、社外取引先との デザインチェックプロセス

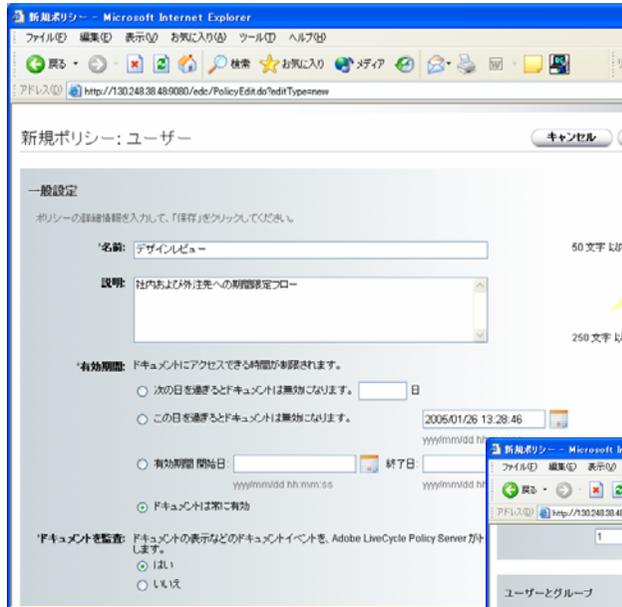
- **対象業務**
  - 製造業等における、外部関係会社とのコラボレーション（非定型）  
プロセス
- **顧客の課題**
  - 社外に渡した機密情報の第三者への流出を防ぎたい
  - 1:Nのコラボレーションの効率化
- **アドビの提案**
  - PDFへのセキュリティポリシー、利用権限付与により実現
    - セキュリティポリシー ⇒ 第三者への漏えい防止、有効期間の動的な設定
    - 利用権限付与 ⇒ Adobe Readerでコメント付与
- **適用製品**
  - Acrobat
  - LiveCycle Policy Server

# 情報の不正流出を防ぐ、セキュア コラボレーション

- システムが異なる複数の組織を横断するプロセスを効率化
- 時間や利用者毎にセキュリティを変更



# LiveCycle Policy Server設定画面

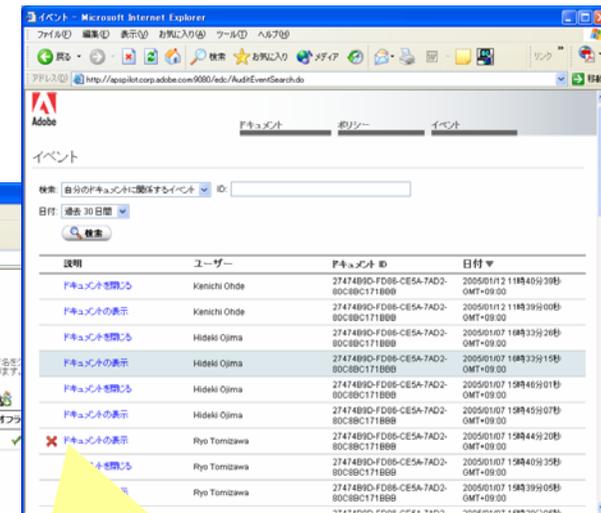
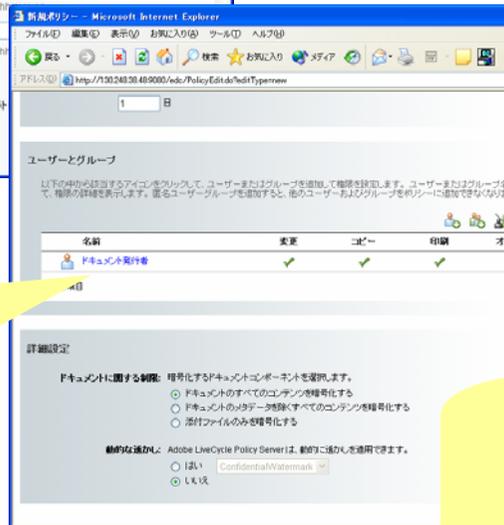


## 【ポリシーの概要】

- 名称
- 有効期間
- ログのトレース可否

## 【ポリシーの対象 他】

- 対象となるユーザー、グループ設定
- セキュリティレベル
- 透かしの設定 等



## 【利用履歴・ログの監査】

- ユーザー名、ドキュメント名などの条件で利用履歴が検索可能
- 管理者用の各種機能

# DEMO#3：フォーム+セキュリティポリシー

ライブサイクル火災 | 損害調査システム

LiveCycle Financial Group

LOGOUT

**処理状況**

報告・通知書

証明書

■ 今週の処理予定案件

B-0418872: 物損	未処理
J-0407723: 人身	処理中
J-0407722: 人身	処理中
B-0418871: 物損	処理中
B-0418870: 物損	処理済

Copyright 2004 LiveCycle Insurance Co., Ltd.

Adobe Reader - [事故報告書.pdf]

Adobe Reader - [事故報告書.pdf]

ネット系必 自動車事故受付シート

●受付日

証券番号 契約者

事故日 月 日 年 運転者 性別 年齢

事故場所 届出警察 登録番号

保険金額 車対人 対物 対車 対物 対車 対物 対車

費用掛保特約 万円 身の掛り 万円

契約車両 会社名 車種 積手車 会社名  
自賠責 証明書 任意保険 証明書

●事故状況 ●状況図

項目	申請者	申請日	申請内容	申請状況	入票日
対人自賠責	①	氏名	性別	年齢	印
無保険車	②	氏名	性別	年齢	印
対物	①	氏名	性別	年齢	印
②	氏名	性別	年齢	印	
損傷	①	氏名	性別	年齢	印
②	氏名	性別	年齢	印	
人身傷害	①	氏名	性別	年齢	印
②	氏名	性別	年齢	印	

Adobe Reader - [事故査定報告書1.pdf]

Adobe Reader - [事故査定報告書1.pdf]

関係者外秘

ライブサイクル火災 御中

事故年 月 日

事故査定報告書

支払い上限金額

修理金額

修理可能  
修理費

査定事業者

事業者住所

担当者

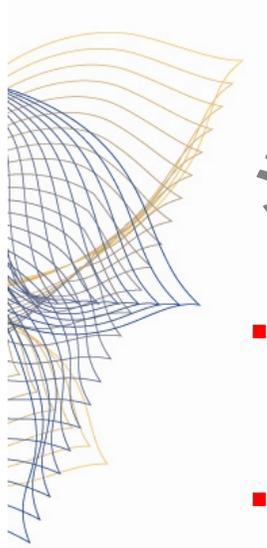
2004/11/23 1:15:55

事故報告書.pdf

更新日時 2004/11/23 1:15:55

文書内の場所 1 ページ

サイズ 21 KB



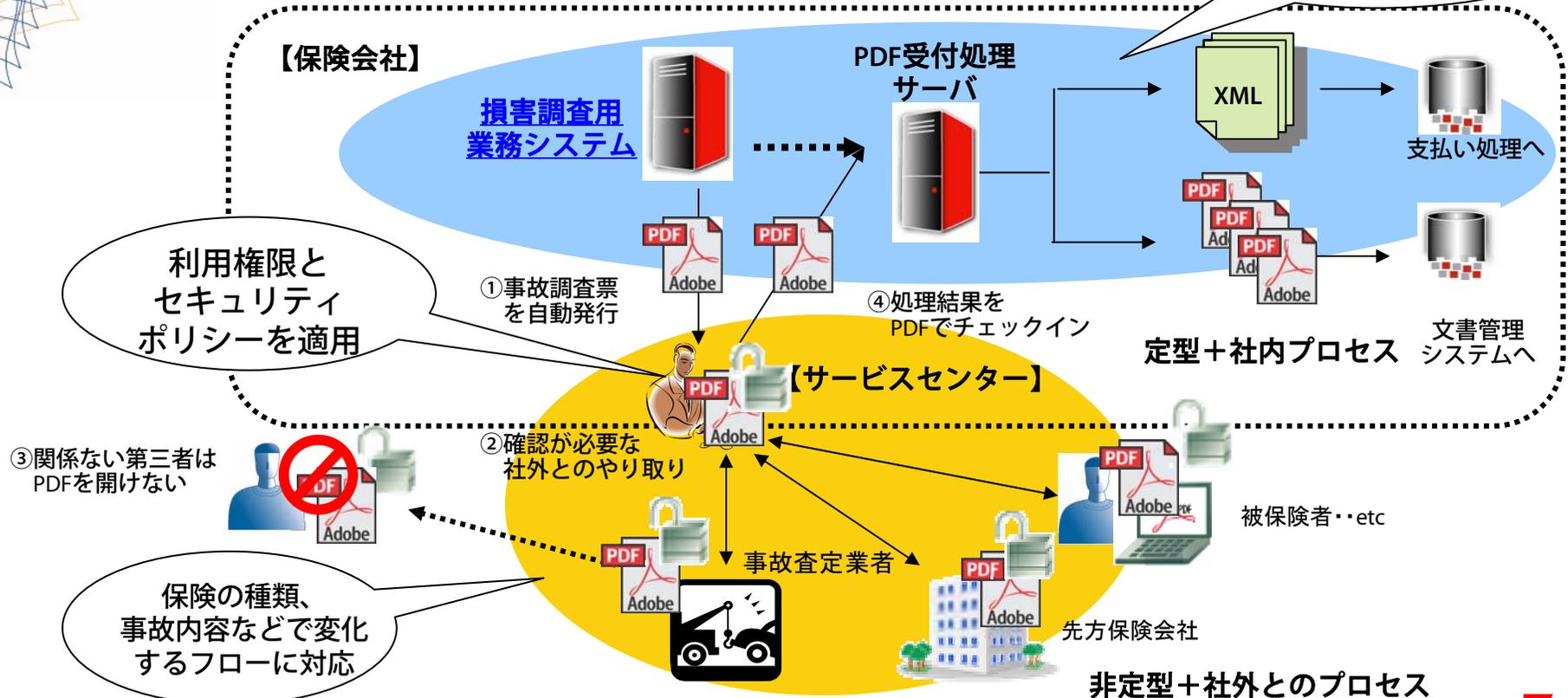
# シナリオ：事故調査～支払いプロセスの改善

- **対象業務**
  - 損害保険による請求～事故調査～支払いプロセスの効率化
  
- **顧客の課題**
  - 保険内容、事故状況により、都度変わるプロセスへの対応
  - コンプライアンスへの対応（フォームの改変防止、個人情報保護）  
⇒プロセス効率化とセキュリティの両立を図りたい
  
- **アドビの提案**
  - フォーム機能とアクセスコントロールによる、セキュア・ラウンドトリップ・ワークフロー
  
- **適用製品**
  - Acrobat
  - LiveCycle Designer
  - LiveCycle Policy Server
  - LiveCycle Reader Extensions
  - LiveCycle Forms

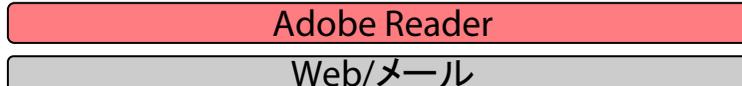
# 個人情報保護とプロセス効率化を両立

- 既存の定型・社内プロセスと非定型の社外プロセスを統合
- 社外とのやり取りでの個人情報保護

PDF⇒XMLの活用で、  
既存アプリケーションとの  
データ連携を容易に

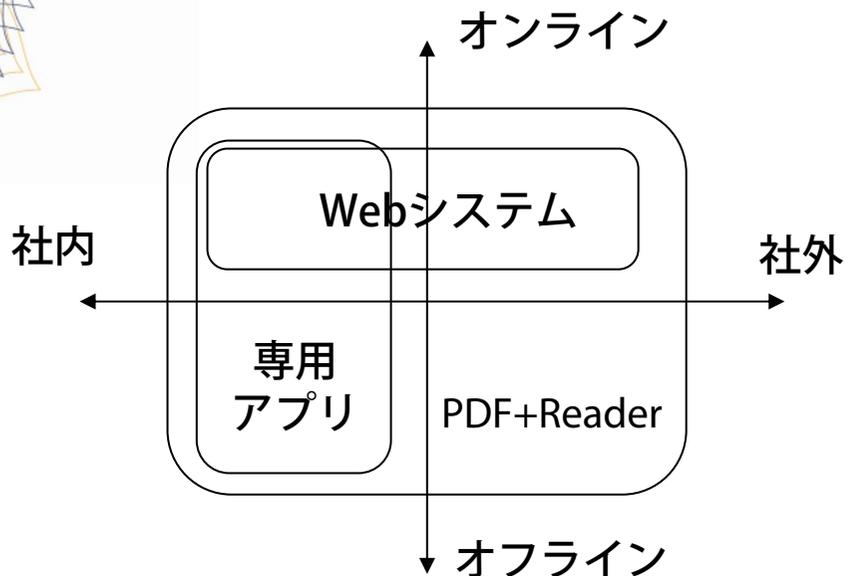


ユビキタスな環境で運用可能



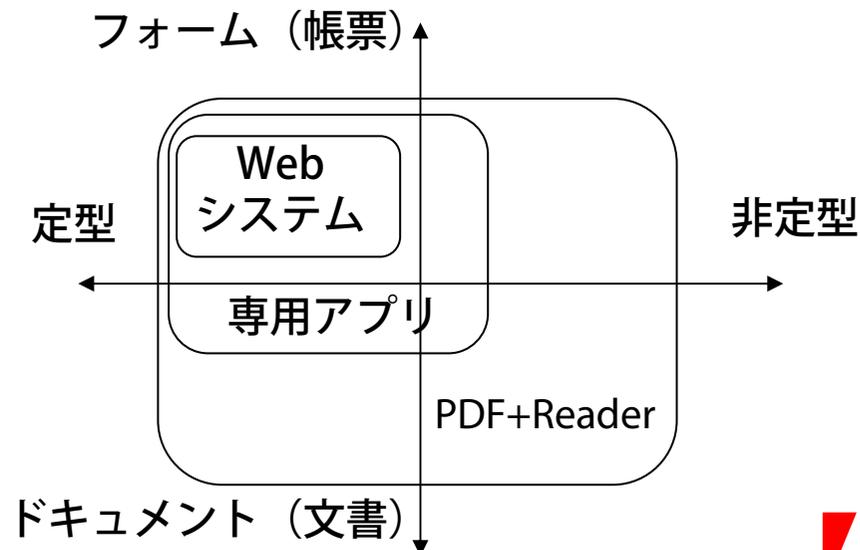
# アドビPDFソリューションのポジショニング

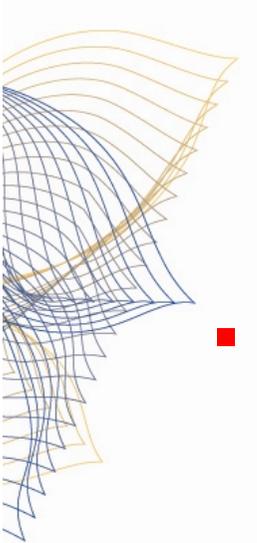
インフラ：あらゆる利用環境に展開可能な**セキュアかつユビキタス**なプラットフォーム



Only Oneかつ  
デファクトスタンダードな  
プラットフォーム

プロセス：あらゆる業務に適用可能な  
柔軟性の高いプラットフォーム

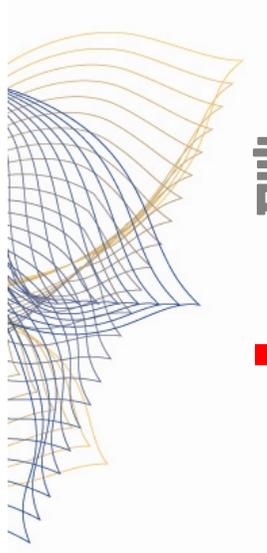




## まとめ：アドビのPDF戦略

- Adobe Readerを業務システムの課題を解決する **Rich Client**として位置づけ
- PDFをインテリジェントに扱うための「**機能拡張**」と「**セキュリティポリシー**」
- J2EEアプリケーションとドキュメントプロセスを統合する**Adobe LiveCycle**プロダクトの提供
- **2次元バーコード**で、「紙」プロセスをも電子的に統合可能

既存の業務システムを更に拡張し、  
「情報共有」と「セキュリティ」を両立します



## 詳細情報のご案内

- **Adobe LiveCycle製品情報**

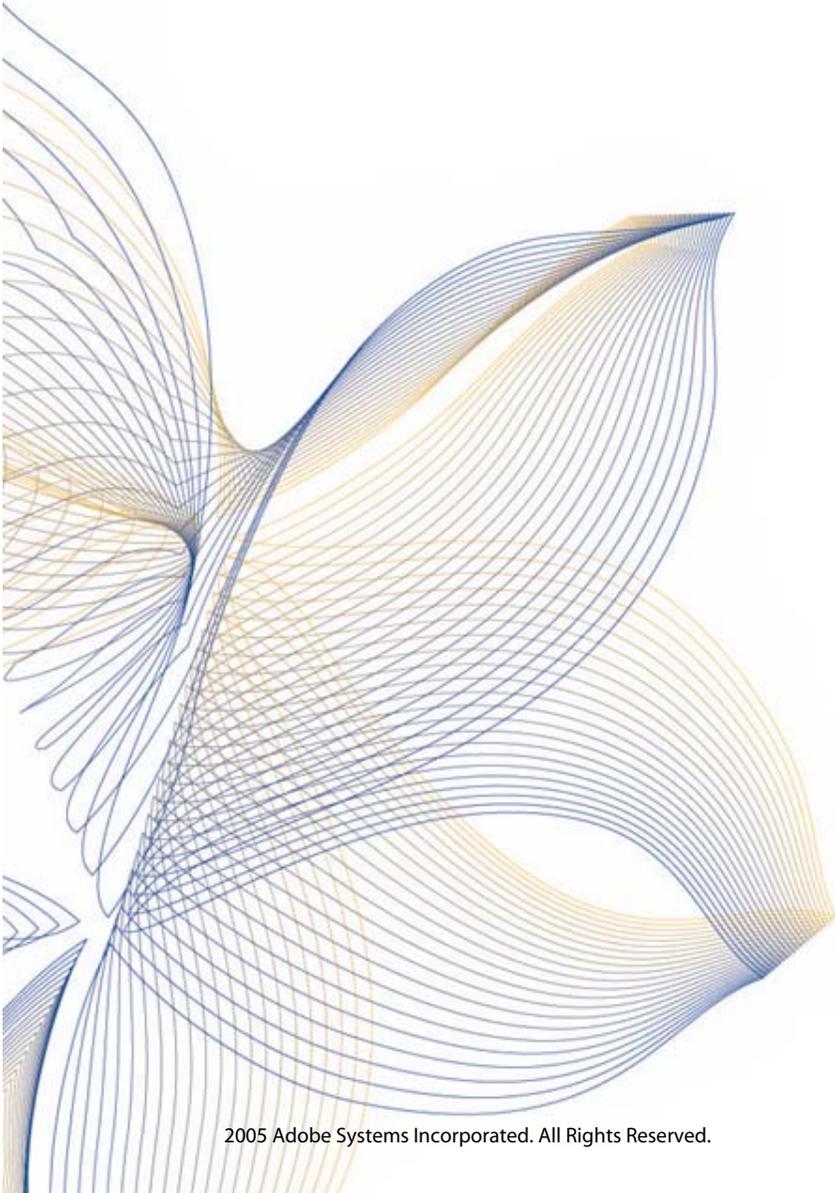
<http://www.adobe.co.jp/server/>

- **ユーザ事例**

<http://www.adobe.co.jp/enterprise/customers.html>

- **導入に関するお問い合わせ**

<http://www.adobe.co.jp/enterprise/contactus.html>



2005 Adobe Systems Incorporated. All Rights Reserved.

